

市長の中国語講座受講に関する経過

(H18. 7) 馬英九台北市長(当時)来浜(日中スピーチコンテストの提案)
市長に中国語を習得していただく必要性が強まる。

(H18. 8～H19. 1)中国語習得方法の検討(国際政策室)

(H19. 2月上旬)社会保険横浜看護専門学校に受講の打診
(窓口:教務部長)

この際「学校長に報告するため趣旨の分かる文章をいただきたい」と求められる。

(H19. 2. 15)市長に国際政策室が受講の説明。

(H19. 2. 16)国際政策室長が当該校の副学校長に文章を持参し、直接説明。

(2. 16以降)市長から今回の受講については「個人対応」とするという指示を受ける。

その内容を社会保険横浜看護専門学校の教務部長に電話で伝達。

これ以降、市としては本件について連絡を取っていない。